

堅実実行型予算 114万1千円

(対前年度比 4.4%減)

一般会計
308億8,000万円

「自然と歴史と先端科学技術が調和し一人ひとりが輝くまち」の実現に向けて、行財政改革を推進し、安全・安心のまちづくり及び地域医療の充実等、市民生活に密着した事業に重点を置いた市政展開を図ります。

世界的な景気後退が続く中、歳入においては、市税、交付金、地方交付税等の一般財源の大幅な減少など、地方財政を取り巻く厳しい状況の中で、国・県支出金をはじめとする特定財源の確保に努めます。

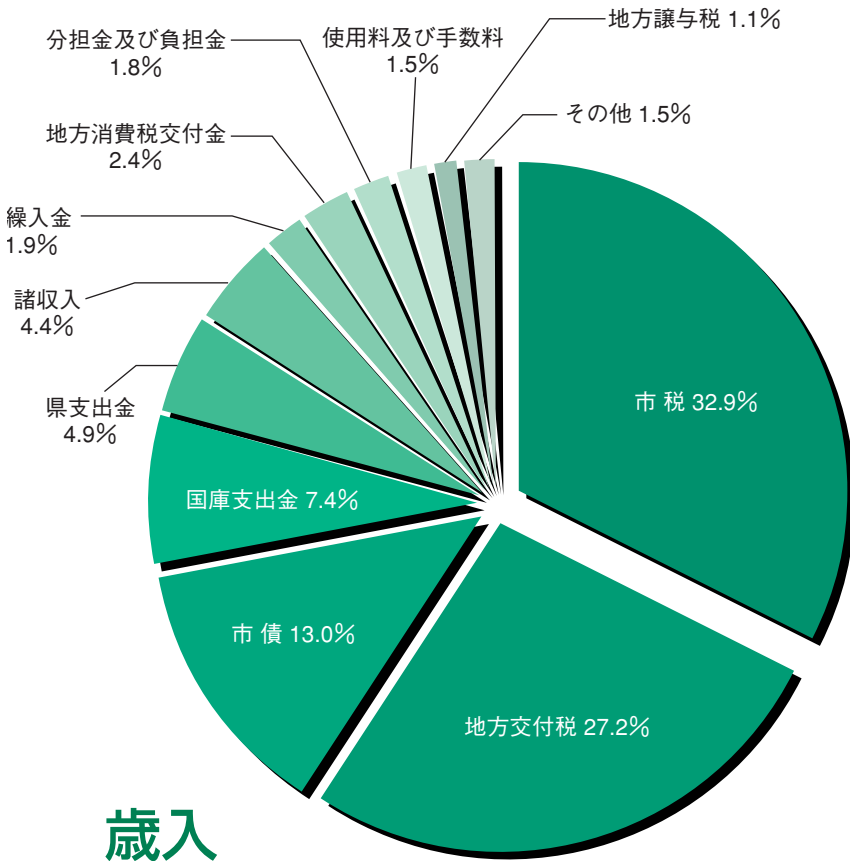
また、歳出においては、行政改革大綱及び行政改革加速アクションプログラムの指針に基づき、徹底的な経費節減と事業の見直しを引き続き推進するとともに、市民と行政の連携による、市民の視点に立った各施策の促進に取り組んでいきます。

具体的には、合併特例債等を活用し、幹

線道路の整備、姫新線高速ディーゼル化及び駅周辺整備を実施するとともに、教育施設の耐震補強をはじめとする安全かつ安心な生活環境の整備、地域医療の充実を目指す取り組み等を進めます。

その一方で、雇用対策にも重点を置き、本市の独自性のあるソフト事業については、創意工夫を凝らしながら、少子化対策、次世代を担う人づくり及び市民が健やかに暮らせる環境づくりを目指します。

以上の内容をポイントに、市民生活に直結した堅実実行型予算を編成しました。



歳入

軽自動車税
バイク・軽自動車などにかかる税

2,107円

市たばこ税
たばこの消費に対してかかる税

5,530円

都市計画税
市街化区域内の土地・家屋に対してかかる税

5,856円

固定資産税
土地・家屋・償却資産に対してかかる税

59,745円

市民税
個人の所得や法人の収益などに対してかかる税

50,851円

市税総額

124,089円

一年間に一人あたりが負担する税

平成21年度 予 算

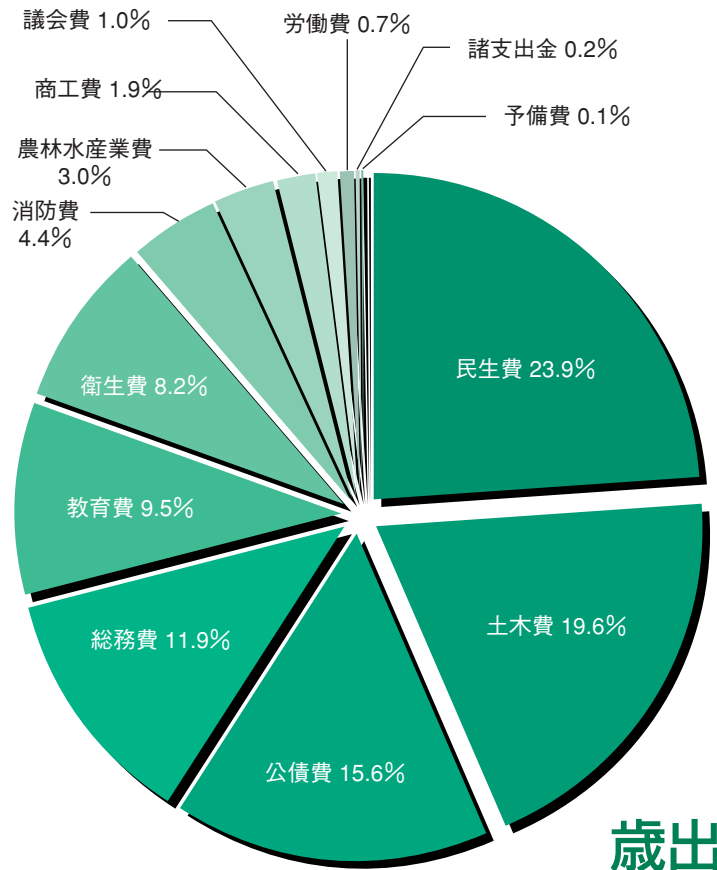
市民生活に直結した 予算総額 583億

各会計予算総括表

(単位:千円)

会計名		予算額	
一 般 会 計		30,880,000	
特 別 会 計	学校給食センター事業	251,937	
	土地取得造成事業	5,000	
	揖龍広域センター事業	6,145	
	揖龍公平委員会事業	719	
	国民健康保険事業	8,196,101	
	老人保健医療事業	24,071	
	後期高齢者医療事業	773,161	
	介護保険事業	4,643,862	
	下水道事業	5,362,542	
	農業集落排水事業	485,057	
	前処理場事業	2,150,591	
	と畜場事業	53,948	
計		21,953,134	
一般会計+特別会計		52,833,134	
企 業 会 計	病院事業	収入	2,184,962
		支出	2,269,998
	水道事業	収入	1,096,296
		支出	1,583,652
	国民宿舎事業	収入	1,516,161
		支出	1,614,357
計 (支出)		5,468,007	
合 計		58,301,141	

内訳 一般会計 308億8,000万円
(対前年度比 3.7%減)
特別会計 219億5,313万4千円
(対前年度比 5.0%減)
企業会計 54億6,800万7千円
(対前年度比 6.0%減)



歳出

衛生費
ゴミの清掃、保健衛生、し尿処理など
30,930円

教育費
教育・文化・スポーツ施設の充実など
35,616円

総務費
市役所の管理運営など
44,744円

土木費
道路・公園・市営住宅の建設や管理など
73,864円

民生費
社会福祉や生活扶助など
90,215円



その他
66,349円

商工費
商工業の振興、観光事業の充実など
7,329円

農林水産業費
かんがい排水やほ場の整備など
11,173円

消防費
消防・救急・防災など
16,664円

歳出総額
376,884円

一年間に使われるお金を一人あたりに換算すると